

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年7月9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100986		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム なのはな	ユニット名	一の館
所在地	〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町4708-41		
自己評価作成日	平成23年11月21日	評価結果 市町村受理日	平成24年7月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873100986&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年1月25日	評価確定日	平成24年6月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

静かな環境の中でその人らしく、毎日穏やかに過ごす事が出来る様に支援しています
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>毎年小学校で収穫した米をもらい、利用者が職員と一緒に混ぜご飯のおにぎりをつくり、近隣の住民にふるまっている。</p> <p>事業所は地区の子ども会の廃品回収に協力し、段ボールや新聞紙などの資源ゴミを年6回出すほか、職員は地域の清掃活動に積極的に参加し、地域の一員としての役割を担っている。</p> <p>運営母体が医療法人なので、利用者の急変時や健康面において適切な支援が受けられるシステムになっており、利用者や家族等の安心につながっている。</p> <p>理念に基づき職員は利用者本位のケアを心がけ、できることは見守り、できないことは共に支え合い、穏やかな日々が送れるように支援をしている。</p> <p>管理者と職員は外部評価の結果をもとにミーティングを行い、できることから少しずつケアの改善に努めている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に元ずき職員共に共有し、実践につなげている。	前回の外部評価でアドバイスを受けたことを参考に昨年全職員で理念の見直しを行い、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成している。 管理者は職員が理念に基づいたケアを実践できるよう、玄関や事務室、各ユニットに理念を掲示するだけでなく、ミーティング時においてその意義について説明している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事や散歩などで近隣の方との接点は多いと思はれる。又、地区のお祭りや文化祭に参加し、地域の方との交流に努めている。	事業所の納涼祭に子ども会や地域の人々を招待しているほか、地区の夏祭りに招待されるなど相互に交流を図っている。 近所の方から農作物のお裾分けがあったり、地元の小学校で収穫した米を頂くなど、事業所は地域とのつながりを大切にしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在の所、取り組みは行っていない。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議に出された意見を理解し、出来る事から取り組、サービス向上に活かしている。	運営推進会議は家族等や市職員、地域住民、法人の代表、管理者、介護支援専門員で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所からの行事報告や入居者の状況説明が主で、家族等や地域住民からの意見や要望は少ないが、会議で出た意見等は職員で検討し、できる事から取り組み、サービスの質の向上に努めている。	運営推進会議は事前に議題を伝え、委員から積極的に意見が出るようにすることを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村との連携は十分では無いが、少しずつ取り組んでいる。	管理者は市担当者へ利用者の暮らしぶりを報告したり疑問点を相談しているほか、空き状況を伝えるなどで協力関係を築いている。 月1回介護相談員が来訪した際には必ず意見交換を行い、情報の共有に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全に生活出来る様、声掛け、見守り重視で日々実践している。	管理者は職員が身体拘束をしないケアを正しく理解し実践するため、マニュアルを作成するとともに禁止行為11項目を各ユニットに掲示し、玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 昨年1度だけ、徘徊により転倒の危険性が高い利用者に対してやむを得ず玄関を施錠したケースがあったが、事前に家族等に電話で承諾を得た後、後日改めて書面で同意をもらい直し、経過や時間、内容などを記録するとともに市に報告をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し学習している。ミーティングの際に議題として取り上げ、各職員に伝達している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修にて報告により理解し、行政や関係者と話し合い活用しながら支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安や疑問がある場合には、その場又は後日でも説明し納得した上で、利用していただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見を取り入れ、出来る限り満足していただけるよう努力している	重要事項説明書に苦情相談受付窓口を明記するだけでなく、玄関にも掲示している。 意見箱を設置しているが投函実績はない。 利用者から希望や意見を聴取しケアの改善に努めているが、近年利用者の意欲の低下や家族等の面会・来訪者の減少により十分に意見を汲み上げるまでには至っていない。	家族等の意見や要望を把握するため無記名のアンケートを実施したり、家族等に呼びかけて行事を開催し情報交換を行うなど、積極的に意見や要望を汲みあげる機会を設け、出た意見等を運営に反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回、法人内の代表者会議を行っており、その際に職員の意見や提案を運営者に報告し検討していただく	職員の採用人事は運営母体が一元的に行っているが、代表者は職員の要望や管理者の意見を参考に人事異動をしている。 管理者は毎日の申し送り時や全体会議の場において、職員の意見や要望を汲み上げるだけでなく、常に対等な関係で物事が言えるような関係づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	グループホーム管理担当の職員が訪問し、状況を把握している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や自主研修をとうして、職員個々がレベルアップする様に進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域で行われている研修会に参加の際、他の施設の職員との情報交換の場としている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所受け入れ時、必要に応じて本人や家族より身体の状態や入所までの経緯、又これからの生活で不安な事について聞いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	安心して生活していただける様、本人、家族から状況を聞き、随時対応している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内で多種の支援事業を運営しており、本人の状況、ニーズに応じて他のサービス利用の説明や助言を、本人や家族に伝えている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	若いころの思い出話などを聞き、お互い学びながら良い関係で支え合える様に努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常時、面会は可能としている。希望されている事を聞きながら方向性を共にするように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出、外泊は自由となり、家族や知人、友人など出入りしている。	家族等や知人の来訪者が少なく、馴染みの人に会ったり馴染みの場所へ出かけられない利用者には、職員が手紙を代筆したり、事業所に設置している公衆電話を利用して電話を取り次ぐなど、できるだけ利用者を取り巻く人や場所との関係が途切れず継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションをどうし利用者同士、同じ話題に参加し孤立しないよう、声掛け、見守りを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	良い方向になる様、協力機関と連携を取りながら相談、支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望、意向を聴き、ケアプラン作成やモニタリング時に、サービス担当者会議を開催している。	職員は利用者と生活を共にするなか、利用者の言動や表情から思いの把握に努めている。 意向の把握が困難な利用者の場合は、行政担当者や家族等から意見を聴いたり、職員でミーティングを行い、できるだけ利用者の主観にそった物の見方や考え方をし、利用者の希望にそった支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に、情報提供を受けひとり一人の暮らしを把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護日誌に記入したものを共有すると共に、表情や様子を見て、心身状態を把握する様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	意見を反映し、介護計画を作成している。	ケース記録やモニタリングを基に長期目標や短期目標を設定している。 要介護認定更新時や心身の状態に変化が生じた場合は、職員の意見も取り入れながら随時介護計画を見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録と毎朝の申し送りにて、前日の様子などの情報を共有し気づきや工夫が、ケアに反映されるようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	母体でいろいろな施設を持っているので要望に応じた支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事の際には地域のボランティアの協力をいただき、地域の文化祭には作品を出展し参加しながら支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医との連携に心がけている、また精神疾患を抱えている方は、専門の病院にて受診をお願いし報告をいただいている	管理者は契約時に利用者や家族等の希望を確認し、かかりつけ医を決めている。 通院が可能な利用者の場合は2週間に1回運営母体の病院への受診を支援しているほか、それ以外の利用者は運営母体の医師が往診してくれる体制となっている。 受診結果は利用者の状態に変化が生じた場合や薬が変わった場合のみ家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常診てもらっている看護師に相談に乗って頂いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医との連携に取り組んでいる、入院した場合でも主治医と相談し出来る限り、短期間で退院出来るよう努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医と連携を図り、ホームで生活できる様支援している。	口から食事が摂れなくなるなど利用者が重度化した場合や看取りの支援は実施しない方針で、契約時に管理者が利用者や家族等に説明し書面で同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対策マニュアルがあり各職員が対応できるようにしている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防訓練を行い、また万が一の場合に協力をいただける様に、常に地域の方との付き合いも大切にしている	消防署や防災協会の指導のもと年2回避難訓練を実施しているが、近年は夜間を想定した避難訓練は実施していない。 避難訓練を実施する場合は地域住民にチラシを配布し参加を呼びかけているが、避難訓練の実施記録からは地域住民が参加した状況はみられなかった。 今までは米や飲料水、毛布を備蓄していたが、東日本大震災の経験を教訓に新たにラジオと電池を備蓄したり、浴槽に水を溜めるなどの災害対策をしている。	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、地域との協力体制を構築する方法について運営推進会議で検討することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した対応に心がけ支援している	意思を主張する利用者が減ってきているため、利用者がやりたいことを自己決定できるよう昼食後に昼寝やテレビ観賞、読書、談話など自由に過ごせるプライベート時間を1時間設け、利用者の尊厳ある暮らしの実現に取り組んでいる。 契約書や重要事項説明書などの書類は事務室で一元的に管理しているほか、その他のケース記録や申し送りノートなどは、各ユニット毎に利用者の目に付かない場所に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりに関わり、自己決定が出来る様に働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者を第一に考え、その人らしい暮らしが出来るように支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張理容サービスを利用し、希望の髪形に応じている。また、洋服を選ぶ事が出来る方は好むものを着ている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付け、それぞれ出来る事の手伝いをしていただき職員と共に楽しく食事が出来るよう、支援している	利用者は一人ひとりの能力に応じ、できる範囲で食事の準備や下膳などを行っている。 運営母体の病院の栄養士が事業所の要望を取り入れた行事食や代替食を組み込みながら献立を作成し、栄養管理をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立で調理している、食事量や水分量はひとり一人の状態に応じて、必要量を摂取できるよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	夕食後の口腔ケアに力を入れ、声掛け、見守り、介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンに応じて誘導はさりげなく行い、失敗したときは周囲に気付かれないよう対応している	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、利用者の状態や体調に合わせてトイレ誘導や声かけをするとともに、必ず食事とお茶の前にはトイレ誘導をしている。 利用者の体型や状態に応じて数種類のおむつやパット、布パンツを使用した結果、利用開始時は紙おむつを使用していた利用者が布パンツ使用に改善するなどの効果が表れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに摂ってもらい散歩、ラジオ体操を行い予防している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	決められた時間帯であるが、希望に合わせた入浴が出来るよう支援している。	週2回午前中の中の入浴を支援するとともに、ユニット毎に入浴する曜日を変えているため、発熱して入浴ができなかった場合などは別のユニットで入浴するなど、柔軟に対応をしている。利用者の状態や状況に応じてシャワー浴や部分浴、清拭をしている。入浴を楽しめるよう柚子湯や菖蒲湯を取り入れている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後、静かに休息が出来るよう心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効用、副作用、服用量を個々に確認できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	牛乳・水運び・カーテン閉め、雑巾掛け、草取り、趣味など出来ることを支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日に散歩を兼ねて外気浴を心がけている。また、家族の協力が得られる方は外出・外泊に出かけられるよう支援している。	数年前市の福祉バスを借りて施設めぐりを行ったが、近年利用者の活動意欲の低下に伴い外出する機会が減っており、暖かい日に敷地内で外気浴を楽しんだり、2週間に1度の病院受診時に外出するだけとなっている。 事業所に公用車がないため、花見や外食などの外出を支援するまでには至っていない。	昨年、隣地に小規模多機能型居宅介護事業所を開設し公用車を購入しており、今後は公用車を借りて利用者の外出機会を増やしたり、花見や外食などを計画して利用者の希望にそった外出の支援に取り組むことを期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持している方は外出時に買い物をしたり、施設内の自動販売機で好きな飲み腿を購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話があり自由に連絡が取れるようになっている、また手紙もいつでも送れるようにしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を漂わせる飾り付けや花を植えたりしている	利用者が季節を感じられるよう観葉植物や季節の鉢植えをたくさん飾っている。 広くて長い廊下は利用者の歩行訓練のスペースとなっている。 壁には地域の文化祭に出展した利用者の作品や写真が飾られ、利用者が懐かしむことができる空間となっている。 食堂の一面に和室があり、利用者が洗濯物を畳んだり横になって自由に寛ろげる空間となっている。 乾燥しないよう食堂に加湿器を置いたり、定期的に換気をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先にはベンチ、廊下にソファ、ロビーにはテレビがあり皆さん一緒に過ごされている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの物あるものを置いたり、写真を飾ったりしている。仏壇を置かれている方もいる	居室にベッドや整理箆筒、洗面台が備え付けられているが、ベッドが合わない利用者は床にマットを敷いて寝たり、好みに合わせて整理箆筒を自由に移動している。 利用者は文化祭に出展した作品やボランティアから頂いた手芸品を飾ったり、仏具や電子ピアノ、ラジオなどを持ち込み、音楽などを楽しみながら自由に暮らせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・浴室・廊下に手すりを設置している。表札を付け分かりやすくしている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームなのはな

作成日 平成24年7月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	議題を伝える	委員から積極的に意見が出る様にする	・意見等を検討し、出来る事から取り組む	H24年7月より
2	13	夜間を想定し訓練	夜間の想定訓練を実施	夜間想定の実施 近隣の方への呼びかけを続けていく	H24年7月より
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。